

令和 7 年 度

主要な施策の成果

京都府宇治田原町

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)1 一般管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 日本語教室運営事業費 (歳入歳出決算書 P. 53)	1,000 (参考: 予算現額内訳) 当初予算額 1,000 補正予算額等 - 合計 1,000	862,000 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) 地域日本語教育推進事業費補助金	多文化共生社会を推進するため、外国人等(原則、18歳以上)を対象とした日本語教室(宇治田原日本語教室)を設立し、その運営を支援した。今後も外国人居住者は、増加するものと見込まれる中、教室開設により、地域住民と外国人を結ぶ拠点を整備した。 〈内容〉 ○4月から学習者を募集、6月に設立総会を開催し、教室をスタートした。(学習者に日本語を教える支援者は、ボランティア養成講座を受講した方) (開催曜日・時間) 毎週日曜日(お盆・年末年始等除く。)午前10時から11時30分まで (場所) 総合文化センター研修室 (開催回数) 36回 (参加人数) 支援者 延べ 327人(登録者 20人) 学習者 延べ 184人(登録者 30人) ○日本語を教えるだけでなく、日本文化を体験してもらう場として正月体験(お点前・福笑い・カルタ・けん玉体験など)を開催した。	総務課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 「ミラチャレ」パワーアップ研究・発信事業費 (歳入歳出決算書 P. 57)	767 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 1,090 補正予算額等 △323 合計 767	729,567 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) きょうと地域連携交付金	ふるさと納税等を活用した子どもたちの夢を応援する特色ある取組「未来挑戦隊チャレンジャー育成PROJECT(ミラチャレ)」について、情報発信の強化を図るとともに、ミラチャレの進化・発展を見据えた研究を進めた。 〈内容〉 ○夢応援「みんなが未来挑戦隊チャレンジャー」事業 子どもたちが将来の夢に変身した姿(=ヒーロー)等の写真を撮影。オリジナルポスターにすることで、夢実現への意欲につなげてもらった。集合版ポスターは、ミラチャレのキービジュアルとして活用。 ・実施日：令和7年8月22日(金)・23日(土) ・場 所：宇治田原町役場 ・参加者：6組9名 ○ミラチャレPR・関係人口創出イベントへの出展 首都圏で開催されるリアルイベントにブース出展し、関係人口の創出・強化のほか、来場者や首都圏メディアへのミラチャレのPRを図った。 【イベント概要】 ・実施日：令和7年11月8日(土)・9日(日) ・場 所：パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい) ・来場者：17,618人/2日間(出展163自治体) ○ミラチャレ進化・発展の検討 ふるさと納税の使い道事業等の取組の先進自治体を視察し、調査研究を進めた。 【視察概要】 ・実施日：令和7年7月4日(金) ・場 所：京都府京丹後市	まち未来創造課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																		
2 ふるさと納税推進事業費 (歳入歳出決算書 P. 59)	122, 779 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 125, 000 補正予算額等 △2, 221 合計 122, 779〕	109, 290, 790 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	ふるさと納税を通じて、地域ブランドのPRとまちの知名度アップ、地域産業の活性化を推進するとともに、未来を担う子どもたちへの事業展開のための寄附増収を図った。 加えて、地域資源の掘り起し・見える化により地域ブランド力を高めることで、シビックプライドの醸成を進めるとともに、関係人口(うじたわらファン)の増加に寄与した。 〈内容〉 ○返礼品について、新規事業者の掘り起こしや既存事業者への提案などコミュニケーションを深め、70事業者・470品目超を展開。 ・事業者説明会：令和7年7月8日(火)、参加者10名 ○選ばれる返礼品・自治体をめざし、事業者と連携したCS(寄附者サービス)向上の取組(発送ラグの短縮、感想投稿の促進など)を実施。 ○サイト掲載内容のブラッシュアップや特色ある使い道「未来挑戦隊 チャレンジャー育成PROJECT(ミラチャレ)」を含めた発信など、訴求力を強化。 ○地域ブランド力の強化とミラチャレの展開を一体的に進めることで、選ばれるまちづくりとシビックプライド醸成を推進。 (参考)主な経緯 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>件数</th><th>金額 *</th><th>返礼品数</th><th>※平成20年度制度開始 経過等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td><td>1, 151件</td><td>21, 585千円</td><td>131品目</td><td>▶ 4月〜クレジットカード`支払開始</td></tr> <tr> <td>H30</td><td>2, 684件</td><td>42, 775千円</td><td>210品目</td><td>▶ 11月〜[さとふる]利用開始</td></tr> <tr> <td>R1</td><td>5, 634件</td><td>95, 106千円</td><td>240品目超</td><td>▶ 9月〜[拡充8サイト]利用開始</td></tr> <tr> <td>R2</td><td>8, 119件</td><td>137, 615千円</td><td>250品目超</td><td>▶ 全12サイトへ拡充</td></tr> <tr> <td>R3</td><td>9, 755件</td><td>176, 895千円</td><td>320品目超</td><td>▶ 全11サイトに集約</td></tr> <tr> <td>R4</td><td>11, 012件</td><td>208, 157千円</td><td>400品目超</td><td>▶ 返礼品を400品目超に拡充</td></tr> <tr> <td>R5</td><td>11, 078件</td><td>218, 289千円</td><td>420品目超</td><td>▶ 全12サイトへ拡充</td></tr> <tr> <td>R6</td><td>13, 671件</td><td>266, 349千円</td><td>470品目超</td><td>▶ 全16サイトへ拡充</td></tr> <tr> <td>R7</td><td>11, 173件</td><td>221, 156千円</td><td>470品目超</td><td>▶ 全18サイト・現地決済型自販機導入</td></tr> </tbody> </table> *表中の金額は千円未満四捨五入	年度	件数	金額 *	返礼品数	※平成20年度制度開始 経過等	H29	1, 151件	21, 585千円	131品目	▶ 4月〜クレジットカード`支払開始	H30	2, 684件	42, 775千円	210品目	▶ 11月〜[さとふる]利用開始	R1	5, 634件	95, 106千円	240品目超	▶ 9月〜[拡充8サイト]利用開始	R2	8, 119件	137, 615千円	250品目超	▶ 全12サイトへ拡充	R3	9, 755件	176, 895千円	320品目超	▶ 全11サイトに集約	R4	11, 012件	208, 157千円	400品目超	▶ 返礼品を400品目超に拡充	R5	11, 078件	218, 289千円	420品目超	▶ 全12サイトへ拡充	R6	13, 671件	266, 349千円	470品目超	▶ 全16サイトへ拡充	R7	11, 173件	221, 156千円	470品目超	▶ 全18サイト・現地決済型自販機導入	まち未来 創造課
年度	件数	金額 *	返礼品数	※平成20年度制度開始 経過等																																																		
H29	1, 151件	21, 585千円	131品目	▶ 4月〜クレジットカード`支払開始																																																		
H30	2, 684件	42, 775千円	210品目	▶ 11月〜[さとふる]利用開始																																																		
R1	5, 634件	95, 106千円	240品目超	▶ 9月〜[拡充8サイト]利用開始																																																		
R2	8, 119件	137, 615千円	250品目超	▶ 全12サイトへ拡充																																																		
R3	9, 755件	176, 895千円	320品目超	▶ 全11サイトに集約																																																		
R4	11, 012件	208, 157千円	400品目超	▶ 返礼品を400品目超に拡充																																																		
R5	11, 078件	218, 289千円	420品目超	▶ 全12サイトへ拡充																																																		
R6	13, 671件	266, 349千円	470品目超	▶ 全16サイトへ拡充																																																		
R7	11, 173件	221, 156千円	470品目超	▶ 全18サイト・現地決済型自販機導入																																																		

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)7 企画費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
8 「ハートのまち」移住定住プロモーション事業費 (歳入歳出決算書 P. 59)	1,323 (参考: 予算現額内訳) 当初予算額 1,323 補正予算額等 - 合計 1,323	1,177,660 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 新しい地方経済・生活環境創生交付金 (第2世代交付金)	人口減少対策と定住化促進のため京都ブランドと「緑茶発祥の地」の強みを活かしながら、関係機関と連携し、『京都に、宇治田原町。』のシティプロモーションを積極的に進めた。 〈内容〉 ○移住定住プロモーション 移住定住コンセプト「うじたわらいく」等により広告発信を展開 ・ほしがきれいなまち宇治田原事業 ほしぞら観望会～星に願いを～ 開催日＝令和7年10月21日・11月7日・12月12日／参加者＝計32名 ○SNS・WEB発信によるPR ・Instagram「ujitawalike」 投稿数 21件／ストーリーズ 145件／フォロー数 1,393(+487) ・移住定住ポータルサイトアクセス数 5,108件 ○ハートのまちPR自治体（南城市）との連携 令和7年8月10日／ハートの日SDGsマルシェ2025メッセージの掲示 令和7年11月17日／第6回南城市まつり 本町PR冊子等の配架 ○その他取組 ・移住サポーターによる移住相談等 宇治田原町お茶の京都EXPO 移住相談ブース（相談1件） ・府・振興局主催の移住セミナーへの参画 つながる京都移住・交流フェア2025（相談12件） 京都やましろフェア（冊子配布100名/移住相談1件） 京都ひろがるワークショップ（参加者8組13名） 移住現地ツアー（参加者10組12名）	まち未来創造課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)9 災害対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																								
1 防災対応力強化事業費 (歳入歳出決算書 P. 59)	6,884 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 13,680 補正予算額等 △6,796 合計 6,884	6,682,280 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 新しい地方経済・生活環境創生交付金 (地域防災緊急整備型)	大規模災害時における避難所の生活環境改善及び防災対応力の強化を図るため、町内の避難所に下記の資機材及び備蓄倉庫を整備した。 また、購入した資機材は、町総合防災訓練や地域の自主防災訓練において活用し、住民自らが避難所設営ができるよう意識の高揚を図った。 〈内容〉 住民体育館、田原小学校、宇治田原小学校、維孝館中学校、奥山田ふれあい交流館の避難所に資機材及び備蓄倉庫を配備した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>避難所</th><th>備蓄倉庫</th><th>パーティションネット</th><th>折りたたみベッド</th><th>段ボールベッド</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住民体育館</td><td>1基</td><td>35張</td><td>35台</td><td>35台</td></tr> <tr> <td>田原小学校</td><td>1基</td><td>35張</td><td>35台</td><td>35台</td></tr> <tr> <td>宇治田原小学校</td><td>1基</td><td>35張</td><td>35台</td><td>35台</td></tr> <tr> <td>維孝館中学校</td><td>1基</td><td>35張</td><td>35台</td><td>35台</td></tr> <tr> <td>奥山田ふれあい交流館</td><td>—</td><td>20張</td><td>20台</td><td>20台</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>4基</td><td>160張</td><td>160台</td><td>160台</td></tr> <tr> <td>購入金額</td><td>2,776,400円</td><td>1,698,400円</td><td>999,680円</td><td>1,108,800円</td></tr> </tbody> </table> ※その他：備蓄倉庫スペース整備工事 99,000円	避難所	備蓄倉庫	パーティションネット	折りたたみベッド	段ボールベッド	住民体育館	1基	35張	35台	35台	田原小学校	1基	35張	35台	35台	宇治田原小学校	1基	35張	35台	35台	維孝館中学校	1基	35張	35台	35台	奥山田ふれあい交流館	—	20張	20台	20台	合計	4基	160張	160台	160台	購入金額	2,776,400円	1,698,400円	999,680円	1,108,800円	総務課
避難所	備蓄倉庫	パーティションネット	折りたたみベッド	段ボールベッド																																								
住民体育館	1基	35張	35台	35台																																								
田原小学校	1基	35張	35台	35台																																								
宇治田原小学校	1基	35張	35台	35台																																								
維孝館中学校	1基	35張	35台	35台																																								
奥山田ふれあい交流館	—	20張	20台	20台																																								
合計	4基	160張	160台	160台																																								
購入金額	2,776,400円	1,698,400円	999,680円	1,108,800円																																								

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 公共交通利用推進事業費 (歳入歳出決算書 P.61)	3,285 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 3,285 補正予算額等 - 合計 3,285	3,064,276 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 新しい地方経済・生活環境創生交付金 (第2世代交付金)	町地域公共交通活性化協議会での審議のもと、町内外をつなぐ基幹公共交通機関である路線バスへの接続と維持確保のための地域公共交通の検証・利用促進のほか、地域公共交通計画に定める各交通施策の推進に取り組んだ。 〈内容〉 ○地域公共交通活性化法に基づく法定協議会である町地域公共交通活性化協議会を開催(3回) ・道路運送法に基づく有償運行(「新しい地域公共交通」)の効果検証、変更 ・「宇治田原町地域公共交通利用案内」の改訂・周知 ・幹線交通の補助的交通体系、利用者負担軽減策の検討 他 ○乗車運賃の価値を創出する利用促進の取組 ・主要バス停での利用促進活動(計1回) ・イベント・催事での啓発活動(計3回) ・生涯学習「出前講座」〔高齢世代〕での啓発活動(計1回) ・地域子育て支援センター〔乳幼児〕との連携事業(計2回) ・小学校〔児童〕との連携事業(計1回) ・中学校〔生徒〕との連携事業(計1回) ・SNSを活用した啓発活動(フォトコンテスト/投稿数=38作品) ○広域幹線〔京都京阪バス〕に係る勉強会(計3回) ※「新しい地域公共交通」 道路運送法に基づく2つの有償運送「うじたわLIKE(らいくはーと)バス・タクシー」により、町内移動の利便性と路線バスへの接続性を向上。	まち未来創造課

(款)2 総務費 (項)1 総務管理費 (目)10 諸費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
8 地域公共交通事業者支援事業費 (歳入歳出決算書 P. 61)	2,396 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 補正予算額等 合計〕	2,396,000 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	乗降客の減少、運転手の確保、原油価格高騰などによる負担増を余儀なくされている町内唯一の運行路線のバス事業者が、サービスの質を低下させることなく乗合バス事業を円滑に継続できるよう、路線バスが町外への主要な公共交通機関とする本町独自の支援策として、運行事業者の運行経費の一部を負担した。 〈内容〉 京都京阪バス(株)が経営環境の悪化による影響を自社の営業努力(人件費、事務費等削減)と経営改善(運賃改定等)施策により改善を図ってもなお生じる負担増相当額のうち、他自治体からの支援と重複しない町路線距離への燃料高騰相当分を町独自で支援。 ○補助額 町内を営業路線とする「新田辺宇治田原線」及び「立場線」の本町内の年間営業走行距離をリットル当たり走行距離(燃費)で除し、リットル当たり燃料価格高騰単価差を乗じ積算。 ・令和6年度町内年間営業距離 $187,993.2\text{km} \div 2.76\text{km}/\ell \times 35.17\text{円} \div 2,396\text{千円}$ (燃料価格高騰負担増相当差額)	まち未来創造課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 地域福祉計画策定事業費 (歳入歳出決算書 P. 69)	1,988 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 2,582 補正予算額等 △594 合計 1,988	1,817,060 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	社会福祉法の規定に基づき、本町における福祉施策に関する個別計画との整合を図るとともに、今後の地域福祉の方向性を位置付け、地域共生の実現に向けた指針となる「宇治田原町第4期地域福祉計画」を令和7・8年度の2か年かけて策定（改定）するため、住民アンケート調査等を行った。 〈内容〉 ○委員会開催（委員10名） 第1回（令和8年1月30日） ・計画の策定について ・策定スケジュールについて ・関係団体等へのヒアリング結果について ・住民アンケート項目案について ○住民アンケート調査（令和8年2月27日～令和8年3月19日） 調査対象：町内に居住する18歳以上の住民2,000人 調査方法：郵送による配布、郵送及びweb回答による回収 回収結果：配布数2,000件 不達数 1件 回収数 741件 （うちweb回答 150件） 回収率 37.1% （うちweb回答 7.5%）	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 障がい者自立支援給付等事業費 (歳入歳出決算書 P. 69)	382,972 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 370,910 補正予算額等 12,062 合計 382,972	376,976,544 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 障がい者自立支援給付費等負担金 障がい者自立支援医療費負担金 他	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）に基づき、障がい者等が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、必要となる各種障がい福祉サービス給付等の支援を実施した。 〈内容〉 ○障がい支援区分認定 〈認定調査17件、主治医意見書17件、審査会委託17件〉 639,200円 ○自立支援給付(介護給付、訓練等給付)等 〈1,787件〉 302,620,579円 ○障がい児通所給付 〈732件〉 56,307,044円 ○自立支援医療給付 〈651件〉 6,291,199円 ○補装具給付（額には町単費助成含む） 〈23件〉 2,098,420円 ○軽・中等度難聴児支援 〈1件〉 8,939円 ○障がい者福祉サービス等利用支援 （国制度を上回る利用者負担軽減策を府・町が協調して実施） 〈205件〉 2,498,976円 ○その他（前年度国府支出金返還金、障がい福祉サービスシステム改修・保守委託料等） 6,512,187円	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 障がい者地域生活支援事業費 (歳入歳出決算書 P. 69)	15,615 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 12,505 補正予算額等 3,110 合計 15,615	14,431,431 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 障がい者地域生活支援事業費等補助金	障がい者等が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性に応じた柔軟な事業形態による様々な事業を効率的・効果的に実施した。 〈内容〉 ○相談支援事業（障がい者生活支援センター委託） 〈3事業所〉 1,753,000円 ○日常生活用具給付事業 〈66件〉 3,995,680円 ○移動支援事業 〈27名、2,436時間利用〉 6,037,864円 ○訪問入浴サービス事業 〈2名 86回〉 1,216,142円 ○日中一時支援事業 〈8名、872時間利用〉 853,425円 ○その他 575,320円	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)1 社会福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
34 新たな経済対策における 物価高騰対策支援金支給 事業費（繰越） （歳入歳出決算書 P. 69）	3,000 （参考：予算現額内訳） 当初予算額 3,000 補正予算額等 - 合計 3,000	640,138 （補助単独の別） 国・府・単独 （補助制度名） 物価高騰対応重点支 援地方創生臨時交付 金（繰越）	「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい世帯への負担軽減を図るため、令和6年度住民税均等割非課税世帯等に対して「新たな経済対策における物価高騰対策支援金」を支給した。 〈内容〉 ○支給対象世帯 令和6年度分の住民税均等割が非課税である世帯 ○支給額 1世帯当たり 30,000円 18歳以下の児童がいる世帯は 児童1人につき 20,000円加算 〈実績〉 ○支給額等 510,000円(令和7年度) 23,790,000円(令和6年度) 24,300,000円(合 計) 752世帯／780世帯 = 96.4% うち子ども加算 52世帯 児童90人 ○事務費 130,138円 ・ 確認書等郵送料 ・ 口座振込手数料 等	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 高齢者福祉サービス事業費 (歳入歳出決算書 P. 71)	11,391 (参考: 予算現額内訳) 当初予算額 12,515 補正予算額等 △1,124 合計 11,391	9,523,671 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) きょうと地域連携交付金	要援護高齢者及びひとり暮らし高齢者並びにその家族に対し、生活支援サービスを提供することにより、自立と生活の質の確保を図るとともに、高齢者福祉の向上を図った。 〈内容〉 ○緊急通報装置設置事業 〈新規設置数 4名 総設置数 43名〉 863,940円 ○移送サービス事業 〈191回〉 572,500円 ○食の自立支援事業(長楽会) 〈9,341食〉 4,670,500円 ○食の自立支援事業(シルバー配送) 〈9,341食〉 3,348,231円 ○心配ごと相談事業 〈6回開催 延べ7名〉 50,000円 ○介護タクシー利用助成事業 〈4回 延べ4名〉 15,500円 ○夜間等緊急相談支援事業 〈2回 延べ2名〉 3,000円	福祉課

(款)3 民生費 (項)1 社会福祉費 (目)2 老人福祉費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
10 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業費 (歳入歳出決算書 P. 71)	1,264 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 2,170 補正予算額等 △906 合計 1,264	1,115,206 (補助単独の別) 国・府・その他 (補助制度名) 後期高齢者医療広域連合受託事業収入	住民の健康寿命を延伸し、住み慣れた地域で生きがいを持ち安心して暮らし続けるため、関係課連携のもと、専門職による高齢者の地域の通いの場への訪問のほか、健康状態不明者等への個別支援により、高齢者の健康づくりを推進した。 〈内容〉 ○個別支援(ハイリスクアプローチ) 後期高齢者医療の情報から対象者の抽出を行い、電話や訪問で面談等を実施。必要な場合は保健指導や関係機関との連携を行い、適切な医療・支援につないだ。 ①健康状態不明者等への面談 13人/22人 ②低栄養者への電話による保健・栄養指導 18人/27人 ○通いの場への積極的関与等(ポピュレーションアプローチ) 町内15か所の通いの場に医療専門職が関与し、健康教育・健康相談のほか、気軽に相談できる環境づくりを行った。 ①通いの場への訪問 62回訪問 ②集団健康教育・相談、啓発(「輝齡者しゃんしゃん教室」) 6回実施、延べ81人参加 ③健康測定イベントの開催及びフレイル状態ハイリスク者の把握・フォロー ・イベント 1回開催、61人参加 ・ハイリスク者のフォロー 5人/8人	健康医療課

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)1 児童福祉総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
13 物価高対応子育て応援手当支給事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	24,112 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 補正予算額等 合計 24,112 24,112	23,421,725 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 物価高対応子育て応援手当支援金	「強い経済」を実現する総合経済対策に基づき、物価高騰の影響を受けている子育て世帯を支援し、子どもたちの健やかな成長を応援するため、高校3年生までの子どもたちに物価高対応子育て応援手当を支給した。 〈内容〉 ○支給対象者 児童手当支給対象児童（令和7年9月30日時点）を養育する父母等 ・児童手当支給対象児童 0歳から高校3年生までの子ども ・対象児童には、令和7年10月1日以降令和8年3月31日までに生まれた新生児も含む ○給付額 支給対象児童1人当たり 20,000円 ○支給対象児童数 1,142名 ○支給額 22,840,000円 ○事務費 581,725円(各種通知書郵送料、システム委託料等)	子育て課 支援課

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 保育所心を育む茶レンジャー育成事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	190 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 190 補正予算額等 - 合計 190	171,402 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 京都府ふるさと応援交付金	幼児期の発達において特定の大人が愛情豊かに応答的に関わることにより愛着関係を構築し、気持ちを自分自身でコントロールする力の基盤形成に努めた。 また、子どもの心を育て、自信を持って様々なことに意欲的に取り組む心を育てるため、保育士の更なる保育力の向上を図り、子どもたちが意欲的に取り組める保育環境を整えた。 〈内容〉 ○育児担当制保育研修（オンライン講座年3回） 子どもたちに安心感と信頼を提供できる保育環境を整えることが重要である。保育の質が向上し、子どもたちにとってより良い保育環境を提供するため、オンライン講座を会計年度任用職員を含む全職員が受講し、スキルアップと保育の質の向上を図った。 ○保育環境研修（年1回） 遊びを通して学びの土台をつくる幼児期の子どもたちが、意欲的に遊びを見つけ遊び込める環境づくりを行うため、会計年度任用職員を含む全職員が研修を受け、保育のスキルアップを図った。 〈成果〉 職員が研修を受け、新たに学んだ知識や技術を実践することで、自らスキルアップを図る姿勢が見られた。また、保育士の関わりにより子どもの情緒が安定し、安心して保育所生活を送ることができていた。子どもが遊びたいと思える環境を整え遊び込むことで、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための基礎となっている。	子育て課 支援課

(款)3 民生費 (項)2 児童福祉費 (目)2 児童福祉施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																																				
5 保育所体づくりデ茶レンジャー育成事業費 (歳入歳出決算書 P.73)	1,902 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 1,902 補正予算額等 - 合計 1,902	1,889,860 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) きょうと地域連携交付金 京都府ふるさと応援交付金	このまちだからこそできる飛びぬけた保育の推進を目的として、町立保育所に通所する児童を対象に、サーキット運動をはじめとした運動遊びを日常的に取り入れるとともに、体育指導の専門家による体育教室や町内サッカー指導者によるサッカー教室を実施した。 〈内容〉 ○サッカー教室 対象：4,5歳児 <table><tr><td>年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>回数</td><td>4</td><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td>9</td></tr></table> ○体育教室 対象：5歳児 <table><tr><td>年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>回数</td><td>6</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td></tr></table> ○サーキット運動(サーキット遊具：R2. 10. 23購入) 逆上がり 対象：2～5歳児（記録は3～5歳児） <table><tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">児童数</td><td colspan="2">年度当初</td><td colspan="2">年度末</td></tr><tr><td>成功者数</td><td>成功率</td><td>成功者数</td><td>成功率</td></tr><tr><td>3歳児</td><td>42人</td><td>0人</td><td>0.0%</td><td>5人</td><td>11.9%</td></tr><tr><td>4歳児</td><td>30人</td><td>5人</td><td>16.7%</td><td>15人</td><td>50.0%</td></tr><tr><td>5歳児</td><td>41人</td><td>7人</td><td>17.1%</td><td>19人</td><td>46.3%</td></tr></table> 〈成果〉 毎日15分程度のサーキット遊びを活動の中に取り入れることで、身体の使い方が上手くなり、逆上がりや雲梯のできる児童が年度末へ向けて増加。乳児期から継続して取り組んでいた3歳児での成功者が出るなど成果が見られた。職員が専門家による実践指導を受けることにより、児童の意欲を高める関わりなど指導スキルの向上を図った。	年度	R3	R4	R5	R6	R7	回数	4	9	9	10	9	年度	R3	R4	R5	R6	R7	回数	6	14	14	14	14		児童数	年度当初		年度末		成功者数	成功率	成功者数	成功率	3歳児	42人	0人	0.0%	5人	11.9%	4歳児	30人	5人	16.7%	15人	50.0%	5歳児	41人	7人	17.1%	19人	46.3%	子育て支援課
年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																			
回数	4	9	9	10	9																																																			
年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																			
回数	6	14	14	14	14																																																			
	児童数	年度当初		年度末																																																				
		成功者数	成功率	成功者数	成功率																																																			
3歳児	42人	0人	0.0%	5人	11.9%																																																			
4歳児	30人	5人	16.7%	15人	50.0%																																																			
5歳児	41人	7人	17.1%	19人	46.3%																																																			

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 健康増進計画等改定事業費 (歳入歳出決算書 P. 75)	803 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 2,294 補正予算額等 △1,491 合計 803	747,633 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) きょうと地域連携交付金	本町住民の健康増進と食育推進の施策を位置づけた「健やかうじたわら21プラン（第2期宇治田原町健康増進計画）」（令和3年度～令和12年度）」の中間年度にあたる令和7年度に、人口構造の変化やライフスタイルの多様化等に応じた新たな施策を具体化するための中間評価・見直しを行い、令和8年度から令和12年度までの改定計画を策定した。 〈内容〉 ○宇治田原町健康づくり推進協議会(委員11名) 第1回会議(令和7年7月4日) ・各委員からの意見について ・中間見直し計画の骨子案について 第2回会議(令和7年11月28日) ・主な視点とキーワードについて ・中間見直し計画素案について ・パブリックコメントの実施について 第3回会議(令和8年2月20日) ・パブリックコメント結果と回答案について ・健やかうじたわら21プラン（第2期宇治田原町健康増進計画）改定計画「最終案」について ○パブリックコメントの実施 令和7年12月12日～令和8年1月15日 町内公共施設6か所に配架し、併せて町HPにおいても公開 意見等提出者1名、件数2件	健康医療課

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 うじたわら健活フェスタ 事業費 (歳入歳出決算書 P.75)	1,658 (参考: 予算現額内訳) 当初予算額 1,829 補正予算額等 △171 合計 1,658	1,656,554 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) きょうと地域連携交付金	すべてのライフステージの住民を対象とした参加型イベントの開催を通じて、町が行う各種検(健)診や保健事業等を住民に対して周知・啓発を行い、参加への契機とするとともに、健康づくりに関するさまざまな情報を発信・提供することで、個々のヘルスリテラシーの向上を図った。 〈内容〉 ○開催日・会場 令和7年5月17日(土) 住民体育館 ○主な実施内容 世代別にテーマを分けた体験・計測ブース、医療専門職による健康教育講座・相談、健康をテーマにしたステージショーなど ○参加者 128名	健康医療課

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課												
8 がん患者アピアランスケア支援事業費 (歳入歳出決算書 P. 75)	200 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 200 補正予算額等 - 合計 200	34,375 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	がん治療に伴う心理的負担の軽減、社会参加促進などを目的とした補整具等への助成を行うことで、がん患者の生活を支援した。 〈内容〉 ○対象者 ・申請時に本町の住民基本台帳に登録されている方 ・がんと診断され、申請時に治療中又は過去に治療を受けたことがあり、治療に伴う脱毛等の症状又は外科的治療等による乳房の変形により、補整具を必要とする方 ○補助率 購入費用の1/2 〈実績〉 <table><tr><th>区分</th><th>要件</th><th>助成上限</th><th>実績</th></tr><tr><td>ウィッグ等</td><td>がん治療に伴う脱毛に対応するため、一時的に着用するもの</td><td>30,000円</td><td>2名</td></tr><tr><td>乳房補整具</td><td>外科的治療等による乳房の形の変化に対応するための補整具 ①補整下着 ②人工乳房</td><td>①20,000円 ②50,000円</td><td>0名</td></tr></table>	区分	要件	助成上限	実績	ウィッグ等	がん治療に伴う脱毛に対応するため、一時的に着用するもの	30,000円	2名	乳房補整具	外科的治療等による乳房の形の変化に対応するための補整具 ①補整下着 ②人工乳房	①20,000円 ②50,000円	0名	健康医療課
区分	要件	助成上限	実績													
ウィッグ等	がん治療に伴う脱毛に対応するため、一時的に着用するもの	30,000円	2名													
乳房補整具	外科的治療等による乳房の形の変化に対応するための補整具 ①補整下着 ②人工乳房	①20,000円 ②50,000円	0名													

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
18 母子保健事業費 (歳入歳出決算書 P. 75)	4,659 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 5,028 補正予算額等 △369 合計 4,659〕	4,186,655 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 障がい者地域生活支援事業費等補助金 フッ素による子どものむし歯予防事業費補助金 他〕	母性ならびに乳幼児の健康の保持増進を図るため、保健指導・健康診査を実施し、医療その他必要な支援につなげた。 〈内容〉 母子健康手帳の交付、地区担当保健師の面接 28件 新生児訪問 34件 (こんにちは赤ちゃん事業) 養育訪問 6件 1か月児健康診査 32件 (健診費用助成) 乳児健康診査 6回 計33人 乳児後期健康相談 6回 計32人 幼児健康診査 4回 計39人 2歳児歯科健診 3回 計28人 3歳児健康診査 4回 計52人 5歳児健康診査 4回 計40人 (R7新規) 乳幼児健康相談 89件 発達相談 月2回 計32人 歯科検診 (幼児健康診査、3歳児健康診査で同時実施) 身体計測 (乳幼児健診日に同日開催)	子育て課 支援課

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)1 保健衛生総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
20 水道事業会計負担金（物価高騰対策水道料金減免事業） （歳入歳出決算書 P.75）	32,839 （参考：予算現額内訳） 当初予算額 21,518 補正予算額等 11,321 合計 32,839	32,710,128 （補助単独の別） 国・府・単独 （補助制度名） 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた水道使用者の負担軽減を図るため水道基本料金を減免した。 〈内容〉 ○減免の対象とした請求月 ・偶数月検針地区 （郷之口、南、荒木、高尾、銘城台） 令和7年6月、8月、令和8年2月請求分 ・奇数月検針地区 （立川、岩山、禅定寺、湯屋谷、奥山田、緑苑坂） 令和7年7月、9月、令和8年3月請求分 〈実績〉 32,710,128円	上下水道課

(款)4 衛生費 (項)1 保健衛生費 (目)2 予防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																																
1 各種予防接種等対策事業費 (歳入歳出決算書 P.77)	21,453 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 29,582 補正予算額等 △8,129 合計 21,453	13,223,395 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名)	疾病の発生及びまん延を予防するために、医師会等と連携を図りつつ、医療機関での個別予防接種を行う体制を整備し、公衆衛生の向上に寄与した。 〈内容〉 様々な感染症等を予防するため、主に成人に対して必要とされる予防接種(法に基づく定期接種)を実施。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>対象者・年齢等</th><th>位置づけ</th><th>(参考)自己負担金</th><th>接種者数実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者インフルエンザ</td><td>・65歳以上 ・60歳～64歳で一定の障がいをもつ方</td><td>B類</td><td>1,500円(※)</td><td>1,286人</td></tr> <tr> <td>高齢者コロナウイルス</td><td></td><td>B類</td><td>2,000円(※)</td><td>118人</td></tr> <tr> <td>高齢者肺炎球菌</td><td>65歳</td><td>B類</td><td>2,500円(※)</td><td>29人</td></tr> <tr> <td>子宮頸がん(HPV)</td><td>キャッチアップ世代 H9.4.2～H21.4.1生</td><td>A類</td><td>無料</td><td>11人(13回)</td></tr> <tr> <td rowspan="2">高齢者帯状疱疹</td><td rowspan="2">・65歳 ・60歳～64歳で一定の障がいをもつ方 ・70歳～5歳刻みの節目年齢及び100歳以上(R11年度までの経過措置)</td><td rowspan="2">B類</td><td>不活化ワクチン 7,500円/回(※)</td><td>141人</td></tr> <tr> <td>生ワクチン 3,000円(※)</td><td>27人</td></tr> </tbody> </table> (※)生活保護・非課税世帯の接種者は無料 (予防接種法の位置づけ) ○ A類疾病:重症化・集団予防が重点、接種の努力義務あり ○ B類疾病:個人予防が重点、接種の努力義務なし	種別	対象者・年齢等	位置づけ	(参考)自己負担金	接種者数実績	高齢者インフルエンザ	・65歳以上 ・60歳～64歳で一定の障がいをもつ方	B類	1,500円(※)	1,286人	高齢者コロナウイルス		B類	2,000円(※)	118人	高齢者肺炎球菌	65歳	B類	2,500円(※)	29人	子宮頸がん(HPV)	キャッチアップ世代 H9.4.2～H21.4.1生	A類	無料	11人(13回)	高齢者帯状疱疹	・65歳 ・60歳～64歳で一定の障がいをもつ方 ・70歳～5歳刻みの節目年齢及び100歳以上(R11年度までの経過措置)	B類	不活化ワクチン 7,500円/回(※)	141人	生ワクチン 3,000円(※)	27人	健康医療課
種別	対象者・年齢等	位置づけ	(参考)自己負担金	接種者数実績																																
高齢者インフルエンザ	・65歳以上 ・60歳～64歳で一定の障がいをもつ方	B類	1,500円(※)	1,286人																																
高齢者コロナウイルス		B類	2,000円(※)	118人																																
高齢者肺炎球菌	65歳	B類	2,500円(※)	29人																																
子宮頸がん(HPV)	キャッチアップ世代 H9.4.2～H21.4.1生	A類	無料	11人(13回)																																
高齢者帯状疱疹	・65歳 ・60歳～64歳で一定の障がいをもつ方 ・70歳～5歳刻みの節目年齢及び100歳以上(R11年度までの経過措置)	B類	不活化ワクチン 7,500円/回(※)	141人																																
			生ワクチン 3,000円(※)	27人																																

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)2 林業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 林道整備等事業費 (歳入歳出決算書 P. 85)	31,353 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 33,444 補正予算額等 △2,091 合計 31,353	29,765,070 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 林道改良事業補助金 (地方創生道整備交付金事業) 災害に強い森づくり 事業委託金	林道の安全性・走行性や防災機能の向上を図るため、林道の改良や維持管理を実施した。 〈内容〉 ○地方創生道整備推進交付金事業(林道分) ・測量設計業務委託(2号鷲峰山線) 2,354,000円 設計概要：路肩改良 ・道路改良工事(2号鷲峰山線) 7,828,700円 工事概要：路肩改良 ○災害に強い森づくり事業 ・流末整理等工事(地福谷線) 18,594,400円 工事概要：浚渫、流末整理工 ○その他の林道維持管理 ・側溝清掃委託料等 880,000円 ・消耗品費 56,270円 ・林道維持補修原材料費 51,700円	農林環境課

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)2 林業振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 森林経営管理事業費 (歳入歳出決算書 P. 85)	16,533 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 18,110 補正予算額等 △1,577 合計 16,533〕	16,532,280 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔 〕	平成31年4月施行の森林経営管理法に基づき、新たに森林所有者・林業 者・町による森林の経営管理を確保するため、現地調査、経営管理権集積 計画の作成及び森林整備を行った。 〈内容〉 ○経営管理権集積計画作成件数：4件 ○森林整備（間伐）：10.02ha	農林環境課
6 林道整備等事業費（繰越） (歳入歳出決算書 P. 85)	1,668 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 1,668 補正予算額等 － 合計 1,668〕	1,667,600 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔災害に強い森づくり 事業委託金（繰越）〕	京都府委託事業の「災害に強い森づくり事業」を活用し、令和5年5月豪 雨で被災した林道地福谷線の改良等を行った。 〈内容〉 ○災害に強い森づくり事業 ・流木整理業務委託(地福谷線) 業務概要：流木整理 1,667,600円	農林環境課

(款)6 農林水産業費 (項)2 林業費 (目)3 有害獣駆除費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 有害鳥獣対策事業費 <				

(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)2 商工振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
6 ふるさとの品開発支援事業費 				

(款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)3 観光費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 大阪・関西万博観光誘客事業費 (歳入歳出決算書 P.87)	1,224 (参考:予算現額内訳) 当初予算額 1,578 補正予算額等 △354 合計 1,224	1,220,774 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 新しい地方経済・生活環境創生交付金 (第2世代交付金) きょうと地域連携交付金	EXP02025「大阪・関西万博」を契機として、お茶を通じた交流人口の増加を目指すとともに、国内外に広く「緑茶発祥の地 宇治田原町」の魅力を発信した。 〈内容〉 ○大阪・関西万博出展事業 422,825円 大阪・関西万博、関西パビリオン京都ゾーンにてPRブース出展。 ・令和7年8月20日(水)～21日(木)宇治田原茶の呈茶、展示 ・令和7年10月12日(日)観光PR、展示 ○お茶の未来EXP0開催事業 797,949円 万博期間に「緑茶発祥の地 宇治田原町」の魅力や宇治田原茶を体感してもらうイベントを西ノ山展望広場(サブ会場:くつわ池)で開催。 ・令和7年10月4日(土) ・来場者 約100名	まち未来創造課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)1 道路橋梁総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 宇治田原山手線整備促進 住民会議助成金 (歳入歳出決算書 P. 91)	600 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 600 補正予算額等 - 合計 600	600,000 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議に活動助成金を交付するとともに、その活動を支援した。 〈内容〉 ○四役会(令和7年7月17日) ・役員会の日程及び議案等について ○役員会(令和7年8月5日) ・役員の一部欠員に伴う補充選任について ・令和6年度事業報告について ・令和6年度収入支出決算について ・令和7年度事業計画について ・令和7年度収入支出予算について ○一斉啓発活動(令和7年12月25日：宇治田原中央公園ほか) ・町内各所に横断幕とのぼり旗を設置 ○京都府知事へ要望書を提出(令和8年1月19日：京都府庁) ・西脇知事へ要望書手交 ○「宇治田原山手線促進だより」発行(令和8年3月) 〈経過〉 平成26年2月10日設立。町内での一斉啓発活動、京都府知事への要望活動等を実施している。	建設課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 宇治田原山手線整備事業費 (歳入歳出決算書 P.91)	26,547 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 37,010 補正予算額等 △10,463 合計 26,547	20,740,100 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金	都市計画道路宇治田原山手線の整備促進を図った。 〈内容〉 ○宇治田原山手線(立川・岩山地内) L=2,200m ・京都府施行都市計画事業市町村負担金 16,537,000円 ○宇治田原山手線(緑苑坂・禅定寺地内) L=1,190m ・宇治田原山手線道路等詳細設計業務 4,203,100円 〈経過〉 ○宇治田原山手線(贅田・立川地内) 令和元年 道路用地鑑定評価業務 令和2年 公有財産購入 3名 令和2年～5年 京都府へ工事委託 令和5年6月18日 供用 ○宇治田原山手線(立川・岩山地内) 令和4年～ 京都府施行都市計画事業市町村負担金 ○宇治田原山手北線(緑苑坂・禅定寺地内) 平成26年 詳細設計事務 平成27年 物件調査事務、道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(3名) 平成28年 用地測量等業務、道路用地鑑定評価業務、筆界特定業務、 公有財産購入(3名) 平成29年 道路用地鑑定評価業務、公有財産購入(2名)、電気設備移転 補償 平成30年 電気設備移転補償 平成29年～令和7年 西日本高速道路㈱への工事委託 令和5年 緑苑坂～町道禅定寺奥山田線間の供用	建設課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線) (歳入歳出決算書 P.91)	115,942 (参考:予算現額内訳) 当初予算額 116,750 補正予算額等 △808 合計 115,942	52,595,698 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金	宇治田原工業団地線は、宇治田原山手線と宇治田原工業団地を結ぶ町の都市計画道路であり、道路詳細設計及び用地調査に基づき道路用地買収等を実施し、宇治田原工業団地線の整備促進を図った。 〈内容〉 ○土地鑑定評価 1,092,300円 ○物件調査 1,010,900円 ○用地買収 4件 47,920,458円 ○物件補償 1件 2,537,040円 ○その他事務費 35,000円 ※用地買収、物件補償は契約件数及び金額を記載	建設課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 町道新設改良事業費 (歳入歳出決算書 P.91)	40,431 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 39,760 補正予算額等 671 合計 40,431〕	40,429,571 (補助単独の別) 〔国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金〕	住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を行った。 〈工事〉 ○道路・水路改修工事 (1) 排水構造物工・舗装工他 3,378,100円 ○道路・水路改修工事 (2) 法面工・水路工・舗装工他 2,711,500円 ○道路・水路改修工事 (3) 擁壁補強工・舗装工他 6,001,600円 ○4の34号線道路側溝改良工事 側溝工他 6,015,900円 ○排水路改良工事 (1) 側溝工他 8,566,800円 ○排水路改良工事 (2) 排水構造物工・舗装工他 6,756,200円 ○通学路転落防止柵修繕工事 転落防止柵設置工他 665,500円 ○2の2号線舗装改良工事 (2工区) 舗装工・区画線工他 3,593,016円 ○5の5号線他道路維持工事 他 擁壁修繕工・舗装工 1,529,000円 〈業務委託〉 ○11の1号線他樹木剪定業務 752,400円 ○用地測量等業務 369,000円 〈その他事務費〉 90,555円	建設課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
4 道路施設長寿命化修繕事業費 (歳入歳出決算書 P.91)	33,099 (参考:予算現額内訳) 当初予算額 25,099 補正予算額等 8,000 合計 33,099	21,093,154 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 道路事業費補助金	道路施設(橋梁・舗装)の経年劣化が進んでいることから、道路施設の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な補強、修繕及び補修工事を行うことで、道路施設の安全を確保した。 〈工事〉 ○橋梁長寿命化修繕 ・荒木橋橋梁修繕工事(前払金) 橋梁補修工 2,220,000円 ○道路舗装修繕 ・乗岩中畑線舗装修繕工事 舗装工 10,044,100円 〈業務委託〉 ○宇治田原町管理橋梁定期点検業務 8,800,000円 〈その他事務費〉 29,054円	建設課
6 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線)(繰越) (歳入歳出決算書 P.91)	40,000 (参考:予算現額内訳) 当初予算額 40,000 補正予算額等 - 合計 40,000	29,051,000 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 地方創生道整備交付金(繰越)	宇治田原工業団地線は、宇治田原山手線と宇治田原工業団地を結ぶ町の都市計画道路であり、道路詳細設計及び用地調査に基づく道路用地買収等を実施し、宇治田原工業団地線の整備促進を図った。 〈業務委託〉 ○宇治田原工業団地線函渠耐震照査等業務 4,180,000円 ・函渠動的照査 ・道路詳細設計 ・一次元地震応答解析 〈物件補償〉 2件 24,871,000円	建設課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)3 道路橋梁新設改良費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 町道新設改良事業費 (繰越) (歳入歳出決算書 P.91)	19,794 (参考: 予算現額内訳) 〔当初予算額 19,794 補正予算額等 - 合計 19,794〕	18,850,384 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 〔地方創生道整備交付金(繰越)〕	住民生活の利便性、安全性、快適性を確保するため主要町道の計画的な整備及び住民生活に密着した生活道路の整備改良を行った。 〈業務委託〉 ○所有者不明土地対策業務 330,000円 〈工事〉 ○排水路改良工事(2) 4,683,900円 側溝工他 ○2の2号線舗装改良工事(2工区) 13,836,484円 舗装工	建設課

(款)8 土木費 (項)2 道路橋梁費 (目)4 交通安全対策費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 自転車乗車用ヘルメット普及促進事業費 (歳入歳出決算書 P. 93)	147 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 300 補正予算額等 △153 合計 147	83,568 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	自転車の交通安全対策として、ヘルメットの着用を促進し、交通安全意識の高揚と交通事故発生時の被害の軽減を図るため、自転車乗車用ヘルメットの購入費用の一部を補助した。 〈内容〉 ○補助実績 29件 補助金額 83,568円 ○対象者 町内在住の未就学児から中学生まで ○対象となるヘルメット ①次の安全基準を満たす新品の自転車乗車用ヘルメット SGマーク、JCFマーク、CEマーク、GSマーク、CPSCマーク ②令和6年4月1日以降に購入したもの ○補助金額 購入価格(上限3,000円) ※1人につき1個かつ1回限り ○対象期間 令和6年度から令和8年度(時限措置) ○周知方法 町広報紙・町HP・各学校でのチラシ配布等	総務課

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 木造住宅耐震改修等事業費 (歳入歳出決算書 P.93)	2,108 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 8,212 補正予算額等 △6,104 合計 2,108	569,000 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 防災・安全交付金 住宅耐震診断事業費 補助金 他	今後発生が想定される地震に対する備えとして、建築基準法改正（昭和56年）以前の基準により建築されている木造建築物について、補助基本額と補助率を引上げ、建築物の耐震に関する検査及び耐震度を確保する改修に対して補助を実施した。 〈実績〉 ○耐震診断（耐震診断士の派遣） 4件 169,000円 ○耐震改修（簡易改修） 1件 400,000円 ○制度周知 ・町ホームページ、町広報紙への啓発記事掲載 ・地区防災訓練等でのチラシ配布 ・洪水・土砂災害、震災対策啓発パネル展でのチラシ配布 ・京都府及び近隣市町と連携し商業施設での啓発活動	建設課

(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)1 都市計画総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
6 空家等総合対策事業費 (歳入歳出決算書 P. 93)	766 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 1,900 補正予算額等 △1,134 合計 766	558,150 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名)	令和4年度に策定した「第2期空家等対策計画」に基づき、町内の空家等の適切な管理と利活用、移住定住を促進するための総合的な取組を推進した。 〈内容〉 ○宇治田原町空家バンク運営 平成28年度に(公社)京都府宅地建物取引業協会と締結した協定に基づくマッチングを推進。 令和7年度 物件4件掲載/3件成約 延べ 24件掲載/15件成約 ○「うじたわらいく」お試し住宅 平成30年度に南区内の空家を活用・整備し開設した「うじたわらいく」お試し住宅を運営。 R7年度入居 3世帯 延べ18世帯が入居、うち3世帯が移住 ○移住希望者に対するアンケート調査 本町空家バンクに利用者登録している移住希望者に対して、移住及び空き家に関するアンケート調査を実施。調査結果は空家所有者に対し情報提供した。 対象数51件/回答数13件/回答率25.5% ○管理不全空家等除却支援事業 平成30年度創設の管理不全空家等除却支援事業補助金により、危険な空家について、所有者による除却を促した。 R7年度 0件 ○推進体制等 ・宇治田原町空家等対策協議会(計9名) 令和7年11月11日(火)	まち未来創造課

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)1 常備消防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 京都府南部消防指令センター共同運用整備事業費 (歳入歳出決算書 P. 95)	42,220 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 42,220 補正予算額等 - 合計 42,220	42,219,300 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	京都府南部地域の9消防本部が共同運用を行う、京都府南部消防指令センター共同運用整備事業に係る経費の一部を負担した。 〈内容〉 ○指令センター共同運用整備事業分担金 京田辺市消防本部分担金額 256,971,205円 本町分担金額 42,219,300円 ○指令センター共同運用整備事業 消防指令システム等整備 (指令システム、救急デジタル無線システム整備等) 消防指令センター及び京都市消防学校整備 (電気設備改修、内外装その他改修、空調衛生設備改修等) ○消防指令システムの主な機能 (1)AI技術を用いた災害地点の確定・出動指令の迅速化 ・119番通報「音声認識テキスト化機能」の導入 ・消防独自地図を活用した迅速な災害地点の特定や出動指令の発令 ・通報者、指令センター員、通報場所を管轄する消防本部の3者同時通話が可能 (2)消防指令センター・各消防本部の情報共有体制の強化 ・モバイル端末を活用した現場支援システムの導入 ・同一規格の消防救急デジタル無線の整備 (3)通話手段の多様化に対応 ・通報者のスマートフォンを利用した「映像通報システム」の導入により、現場状況に応じた迅速・的確な指令が可能 ○スケジュール ・令和6年度～8年度 新システム構築整備 ・令和9年度 第1期運用開始	総務課

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)1 常備消防費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 消防分署整備事業費 (歳入歳出決算書 P. 95)	8,039 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 12,819 補正予算額等 △4,780 合計 8,039〕	7,764,900 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	京田辺市消防署宇治田原分署は、平成4年12月の開設後33年が経過し、建物全体の劣化が見られることから、早期劣化の防止・長寿命化対策を図るため、改修工事に向けた工事設計業務を実施した。 〈内容〉 ○京田辺市消防署宇治田原分署改修工事設計業務 6,160,000円 ○京田辺市消防署宇治田原分署改修工事設計支援業務 1,604,900円 〈施設概要〉 ・構造 鉄筋コンクリート造 化粧スレート葺二階建 ・面積 1階 267.72㎡ 2階 241.66㎡ 延床 509.38㎡ ・施設 事務室、会議室、仮眠室、更衣室、書庫、車庫、浴室、トイレ、食堂、厨房、倉庫等	総務課

(款)9 消防費 (項)1 消防費 (目)3 消防施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 消防施設整備費 (歳入歳出決算書 P. 97)	5,054 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 5,106 補正予算額等 △52 合計 5,054〕	5,054,000 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	消防団湯屋谷支部の消防器具庫について、災害用毛布等が備蓄できる機能も兼ね備えた地域住民の安心・安全の拠点となる施設を整備するため、新築工事に向けた設計業務を実施した。 〈内容〉 ○湯屋谷消防団器具庫新築工事設計業務 4,895,000円 ○建築確認申請等手数料 159,000円 〈施設概要〉 ・構造 鉄骨造二階建て ・面積 建築面積 48.60㎡ 延床面積 97.20㎡ ・施設 研修室(待機室)、車庫、備蓄倉庫、手洗、トイレ等	総務課

(款)10 教育費 (項)1 教育総務費 (目)3 育英費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課																
1 高校生通学費補助金 (歳入歳出決算書 P.101)	22,391 (参考：予算現額内訳) 当初予算額22,391 補正予算額等- 合計22,391	14,298,412 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	高校等にバス通学する生徒の保護者の負担軽減を図るため、令和7年度より補助率の一部拡充を行い、通学費の一部助成を行った。 〈内容〉 ○補助申請者数及び補助金額 <table><tr><td>年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>申請者実人数</td><td>173人</td><td>170人</td><td>156人</td></tr><tr><td>合計補助金額</td><td>14,407,600円</td><td>13,978,900円</td><td>14,272,300円</td></tr><tr><td>郵送料</td><td>25,418円</td><td>15,158円</td><td>26,112円</td></tr></table> ○補助率及び割合 ・現年度分 ①学期定期券購入額相当分を補助10.7% (定期券あり・保護者が住民税非課税) ②学期定期券購入額相当分の2/3を補助83.6% (定期券あり・保護者が住民税課税) ③学期定期券購入額相当分の1/4を補助5.7% (定期券なし) ・過年度分(令和6・5・4年度分) ①学期定期券購入額相当分を補助5.8% (定期券あり・保護者が住民税非課税) ②学期定期券購入額相当分の1/2を補助79.1% (定期券あり・保護者が住民税課税) ③学期定期券購入額相当分の1/4を補助15.1% (定期券なし)	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	申請者実人数	173人	170人	156人	合計補助金額	14,407,600円	13,978,900円	14,272,300円	郵送料	25,418円	15,158円	26,112円	学校教育課
年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																	
申請者実人数	173人	170人	156人																	
合計補助金額	14,407,600円	13,978,900円	14,272,300円																	
郵送料	25,418円	15,158円	26,112円																	

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 GIGA端末更新事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	34,594 (参考:予算現額内訳) 当初予算額 34,525 補正予算額等 69 合計 34,594	34,545,500 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 公立学校情報機器整備事業費補助金	文部科学省が掲げるGIGAスクール構想に基づき、令和2年度に整備した児童の1人1台学習用タブレット端末を、京都府の共同調達により更新した。 〈内容〉 ○台数 444台 ・田原小学校 210台 ・宇治田原小学校 234台 ○装備 ・タブレット端末 iPad (A16) Wi-Fiモデル ・キーボード一体型ケース ・ヘッドホンジャック ・端末管理用ソフト ・液晶保護フィルム ・授業支援ソフト ・WEBフィルタリング	学校教育課

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 小中学校校内ネットワーク運営費 (歳入歳出決算書 P.101)	12,260 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 12,006 補正予算額等 254 合計 12,260〕	12,249,120 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	校務用ICT機器の更新とゼロトラスト環境の構築により、教職員校務の効率化とネットワークのセキュリティ強化を図るとともに、学習用タブレット端末等を活用した授業の支援を行い、教育DXの取組を推進した。 〈内容〉 ○校務用ICT機器等更新費用 ・教職員用校務端末 54台 田原小学校 26台 宇治田原小学校 28台 ・プリンタ 2台 ・ワイド液晶ディスプレイ 6台 ・端末管理、WEBフィルタリング等ソフトウェア 一式 ・ネットワーク構築費用 一式 ○校務端末及びネットワーク保守料 ○学習用タブレット端末保守料 ○ICT支援員費用 ○その他、インターネット回線使用料等	学校教育課

(款)10 教育費 (項)2 小学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 大阪・関西万博体験事業費 (歳入歳出決算書 P.101)	680 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 1,365 補正予算額等 △685 合計 680	679,422 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) きょうと地域連携交付金	各国パビリオンでの五感を使った展示や映像体験を通じて、多文化への理解を深め、未来の社会・環境問題を学ぶとともに、異なる文化や価値観に触れることで、世界の広さや多様性を実感し、自分の将来について考える貴重な体験機会を提供した。 〈内容〉 ○大型バス借上料及び通行料等 ・田原小学校 329,662円 ・宇治田原小学校 349,760円	学校教育課

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 GIGA端末更新事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	18,679 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 18,679 補正予算額等 - 合計 18,679	18,356,800 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 公立学校情報機器整備事業費補助金	文部科学省が掲げるGIGAスクール構想に基づき、令和2年度に整備した生徒の1人1台学習用タブレット端末を、京都府の共同調達により更新した。 〈内容〉 ○台数 246台 ・維孝館中学校 246台 ○装備 ・タブレット端末 iPad (A16) Wi-Fiモデル ・キーボード一体型ケース ・ヘッドホンジャック ・端末管理用ソフト ・液晶保護フィルム ・授業支援ソフト ・WEBフィルタリング	学校教育課

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 小中学校校内ネットワーク運営費 (歳入歳出決算書 P.103)	6,481 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 6,434 補正予算額等 47 合計 6,481〕	6,143,348 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	校務用ICT機器の更新とゼロトラスト環境の構築により、教職員校務の効率化とネットワークのセキュリティ強化を図るとともに、学習用タブレット端末等を活用した授業の支援を行い、教育DXの取組を推進した。 〈内容〉 ○校務用ICT機器等更新費用 ・教職員用校務端末 37台 ・プリンタ 1台 ・ワイド液晶ディスプレイ 3台 ・端末管理、WEBフィルタリング等ソフトウェア 一式 ・ネットワーク構築費用 一式 ○校務端末及びネットワーク保守料 ○学習用タブレット端末保守料 ○ICT支援員費用 ○その他、インターネット回線使用料等	学校教育課

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)1 学校管理費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
7 中学校体育館空調設備等整備事業費(繰越) (歳入歳出決算書 P.103)	8,215 (参考:予算現額内訳) 当初予算額 8,215 補正予算額等 - 合計 8,215	8,214,800 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名)	学校生活における夏場の熱中症を防ぐとともに、防災機能を強化して安全かつ快適に過ごせる環境を整備するため、避難所となる体育館の中で使用頻度の高い、維孝館中学校体育館の冷暖房設備整備及び照明LED化のための設計を実施した。 〈内容〉 ○中学校体育館空調設備等整備工事設計業務 5,665,000円 ○中学校体育館空調設備等整備工事設計支援業務 2,549,800円	学校教育課
8 中学校体育館空調設備等整備事業費 (歳入歳出決算書 P.103)	73,472 (参考:予算現額内訳) 当初予算額 - 補正予算額等 73,472 合計 73,472	45,595,000 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 空調設備整備臨時特例交付金	学校生活における夏場の熱中症を防ぐとともに、防災機能を強化して安全かつ快適に過ごせる環境を整備するため、避難所となる体育館の中で使用頻度の高い、維孝館中学校体育館の冷暖房設備整備及び照明LED化を実施した。 〈内容〉 ○中学校体育館天井照明器具改修工事 16,720,000円 ・アリーナ照明(20台)等のLED化 ○中学校体育館空調設備整備工事(部分払) 28,875,000円 ・空調室外機 GHP2台 ・空調室内機 GHP床置き8台 ・建具ガラスフィルム貼 他	学校教育課

(款)10 教育費 (項)3 中学校費 (目)2 教育振興費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
3 大阪・関西万博体験事業費 (歳入歳出決算書 P.105)	973 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 1,913 補正予算額等 △940 合計 973	972,564 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) きょうと地域連携交付金	各国パビリオンでの五感を使った展示や映像体験を通じて、多文化への理解を深め、未来の社会・環境問題を学ぶとともに、異なる文化や価値観に触れることで、世界の広さや多様性を実感し、自分の将来について考える貴重な体験機会を提供した。 〈内容〉 ○大型バス借上料及び通行料等 ・維孝館中学校 972,564円	学校教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)1 社会教育総務費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 生涯学習推進事業費 (歳入歳出決算書 P.105)	1,093 (参考: 予算現額内訳) 当初予算額 1,609 補正予算額等 △516 合計 1,093	936,257 (補助単独の別) 国・ 府 ・単独 (補助制度名) きょうと地域連携交付金	少子高齢化、情報化社会の中で、一人ひとりが生きがいのある人生を過ごすことや自己学習意欲の向上を目指して、「いつでも・どこでも・だれもが」学習機会を選択して学ぶことができる生涯学習のまちづくりを推進した。 〈内容〉 ○生涯学習講座「グリーンライフカレッジ」及びことぶき大学総合文化センターさざんかホールでのことぶき大学第1回講座を兼ねた開講式の開催をスタートに、各種講座等を実施した。 ・ことぶき大学 420,771円 一部を除き60歳以下も参加可能とし、幅広い年齢層が参加できる成人・高齢者学習として開催。環境、歴史等教養を深める現代的テーマとした。 ・各種講座指導者報償 30,000円 (金継ぎ体験、森のスワッグづくり) ○学社連携推進事業等補助金 261,508円 田原・宇治田原小学校区の学社連携推進団体及び地域子ども会に対して助成金を交付し、地域での学校外活動を支援した。 ○その他事務費 223,978円	社会教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)3 総合文化センター費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 総合文化センター改修事業費 (歳入歳出決算書 P.107)	59,630 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 59,630 補正予算額等 - 合計 59,630〕	58,455,100 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	総合文化センターの設備や機器類について、大規模な改修を計画的に行うことが必要な状況となっていることから、改修工事等を行った。 〈内容〉 ○さざんかホール舞台機構設備改修工事 39,600,000円 ○楽屋空調設備・小荷物昇降機等改修工事 5,574,800円 ○さざんかホール特定天井等改修設計業務 12,210,000円 ○さざんかホール舞台機構設備改修工事監理業務 1,070,300円	社会教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)4 図書館費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 図書館de多文化コミュニケーション事業費 (歳入歳出決算書 P.109)	300 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 300 補正予算額等 - 合計 300	299,189 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	国籍や民族に関わらず、国際交流の場としてボードゲームを活用したイベントを開催するとともに、相互理解を深めることを目的に外国語図書の整備を行った。 〈内容〉 ○多文化交流事業 年齢も言葉も関係なく楽しめるボードゲームを活用したイベントを開催。 ・日時：令和7年9月28日(日) 午後1時30分～3時30分 ・参加者：15人 (内訳)ベトナム人 大人10人 中国人 大人1人、子ども1人 日本人 大人3人 ○外国語図書整備 子どもから大人まで幅広い年齢層が親しめる外国語図書(絵本・児童書・一般書等)及び相互理解に役立つ図書を整備。多文化理解の向上とともに外国人住民の図書館利用の促進を図ることができた。 ベトナム語の図書23冊、中国語の図書23冊、英語の図書5冊、その他多文化の図書49冊 計100冊を購入。	社会教育課

(款)10 教育費 (項)4 社会教育費 (目)5 放課後児童健全育成事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 放課後児童健全育成事業費 (歳入歳出決算書 P. 109)	35,405 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 33,316 補正予算額等 2,089 合計 35,405	35,328,026 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 子ども・子育て支援 交付金 放課後児童クラブ等 における性被害防止対 策に係る設備等支援 事業費補助金	勤務等により家庭での保育を受けることができない児童に対し、遊びや生活の場を提供することにより、その健全な育成を図った。 〈内容〉 ○施設 田原児童育成施設及び宇治田原児童育成施設(まるやま交流館) ○開所時間 平日 下校時間～18:30 土曜・長期休業期間 7:30～18:30 ※土曜日合同開設 4月～9月 宇治田原児童育成施設 10月～3月 田原児童育成施設 〈実績〉 ○田原元気っ子クラブ 平均登録人数 50人 1日平均 28.7人(※) (延べ人数 8,294人) 開設日数 262日 ○宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 72人 1日平均 41.5人(※) (延べ人数 12,001人) 開設日数 265日 (※)両学童の開設日数(289日)で延べ人数を割って算出 ○防犯カメラの設置 11台 〈参考〉R6年度利用実績 ○田原元気っ子クラブ 平均登録人数 53人 1日平均 29.4人(延べ人数 8,601人) 開設日数 264日 ○宇治田原元気っ子クラブ 平均登録人数 68人 1日平均 39.0人(延べ人数 11,441人) 開設日数 268日	社会教育課

(款)10 教育費 (項)5 保健体育費 (目)2 体育施設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
5 体育施設集約化事業費 (繰越) (歳入歳出決算書 P.111)	3,876 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 3,876 補正予算額等 - 合計 3,876〕	3,875,300 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	体育施設(住民体育館・トレーニングセンター)の機能集約及び住民プール・トレーニングセンター棟の解体・駐車場整備を行うため、設計業務発注に係る設計図書の作成等を実施した。 〈内容〉 ○体育施設集約及び住民プール解体等工事設計支援業務 3,875,300円	社会教育課
6 体育施設集約化事業費 (歳入歳出決算書 P.111)	12,683 (参考:予算現額内訳) 〔当初予算額 - 補正予算額等 12,683 合計 12,683〕	12,313,400 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	体育施設(住民体育館・トレーニングセンター)の機能集約及び住民プール・トレーニングセンター棟の解体・駐車場整備を行うための設計業務を実施した。 〈内容〉 ○体育施設集約及び住民プール解体等工事設計業務 12,313,400円	社会教育課

(款)10 教育費 (項)5 保健体育費 (目)3 学校給食費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 小中学校給食費支援事業費 (歳入歳出決算書 P.113)	22,732 (参考:予算現額内訳) 〔 当初予算額 11,584 補正予算額等 11,148 合計 22,732 〕	22,040,750 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	物価高騰による保護者の経済的負担を軽減するための緊急的な措置として、給食費を支援した。 〈内容〉 ○1学期 11,303,220円 ・田原小学校 12,480食×280円=3,494,400円 ・宇治田原小学校 13,901食×280円=3,892,280円 ・維孝館中学校 12,634食×310円=3,916,540円 ○3学期 7,866,530円 ・田原小学校 8,927食×280円=2,499,560円 ・宇治田原小学校 9,674食×280円=2,708,720円 ・維孝館中学校 8,575食×310円=2,658,250円 ○2・3学期追加分 2,871,000円 ・田原小学校 23,137食×40円= 925,480円 ・宇治田原小学校 25,128食×40円=1,005,120円 ・維孝館中学校 23,510食×40円= 940,400円	学校教育課

〈 国民健康保険特別会計 〉

【国民健康保険特別会計】

(款)4 保健事業費 (項)1 特定健康診査等事業費 (目)1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 特定健康診査等実施事業費 (歳入歳出決算書 P.149)	10,617 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 10,617 補正予算額等 - 合計 10,617	9,043,314 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名) 特定健康診査等負担金 保険給付費等交付金 (保険者努力支援分)	国保被保険者の健康維持・改善を図るため、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)等の早期発見を目的とした特定健康診査を実施した。 〈実績〉 令和7年度[速報値] ○対象被保険者数 1,322人 ○受診者数 585人(うち人間ドック受診者90人) ○受診率 44.3% ○実施期間 令和7年7月～9月(予備月11月) ※受診率の向上につなげるため、対象者への個別通知、積極的な広報のほか、健診期間中に受診行動別のセグメント分けを行い、それぞれに効果的な媒体での受診勧奨通知を追加送付した。 令和6年度[法定報告(確定)値] ○対象被保険者数 1,273人 ○受診者数 598人(うち人間ドック受診者146人) ○受診率 47.0% ○実施期間 令和6年7月～9月(予備月11月)	健康医療課

【国民健康保険特別会計】

(款)4 保健事業費 (項)1 特定健康診査等事業費 (目)1 特定健康診査等事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 生活習慣病予防対策事業費 (歳入歳出決算書 P.149)	616 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 616 補正予算額等 - 合計 616	111,892 (補助単独の別) 国・府・単独 (補助制度名)	国保特定健診及び人間ドックの結果により、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型肥満)又はその予備群と判定された被保険者及び糖尿病り患の恐れがある方を対象に、町保健師による保健指導を実施した。 〈実績〉 令和7年度[速報値] ○特定保健指導(国基準) ・対象者 72人 うち積極的支援 16人、動機付け支援 56人 ・当該年度中の実施者 27人 うち積極的支援 2人、動機付け支援 25人 ・次年度での継続指導を含む実施率 34.7% ※リスク発生者への積極的な働きかけにより、実施率の向上を図った。 ○重症化予防保健指導(令和4年度より府基準) ・対象者 11人 ・実施者 5人 ・実施率 45.5% 〈参考〉 令和6年度[法定報告(確定)値] ○特定保健指導(国基準) ・対象者 88人 うち積極的支援 17人、動機付け支援 71人 ・当該年度中の実施者 33人 うち積極的支援 5人、動機付け支援 27人 ・次年度での継続指導を含む実施率 39.8%	健康医療課

〈 後期高齢者医療特別会計 〉

【後期高齢者医療特別会計】

(款)3 保健事業費 (項)1 健康保持増進事業費 (目)1 健康診査費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 後期高齢者健康診査費 (歳入歳出決算書 P.167)	5,545 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 6,946 補正予算額等 △1,401 合計 5,545	5,464,818 (補助単独の別) 国・府・その他 (補助制度名) 京都府後期高齢者医療広域連合健康診査費補助金	高齢者の健康保持・増進を図るため、後期高齢者医療被保険者を対象とした健康診査を実施した。 〈実績〉 令和7年度[速報値] ○対象被保険者数 1,450人 ○受診者数 519人 うち人間ドック受診者 62人 ○受診率 35.8%(人間ドックを含む) ○実施期間 令和7年7月～9月(予備月11月) ※受診率の向上と「高齢者の介護予防と保健事業の一体的実施事業」等につなげるため、対象者全員に受診票を送付するとともに、健診期間中に同事業のポピュレーションアプローチほかにて周知広報を実施した。 〈参考〉 令和6年度[確定値] ○対象被保険者数 1,392人 ○受診者数 551人 うち人間ドック受診者 67人 ○受診率 39.6%(人間ドックを含む) ○実施期間 令和6年7月～9月(予備月11月)	健康医療課

〈 水道事業会計 〉

【水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)4 拡張事業費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 配水管耐震化事業費 (水道事業会計決算書 P. 26)	30,500 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 30,500 補正予算額等 - 合計 30,500	3,960,000 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	地震に強い水道をめざして、老朽水道管路を耐震性のある管へと更新するため、詳細設計を行った。 〈内容〉 ○布設替設計業務 ・配水管 HPPE φ150mm L=170.0m ・水管橋 橋梁添架形式 L= 6.7m	上下水道課
4 配水管耐震化事業費 (繰越) (水道事業会計決算書 P. 26)	25,143 (参考：予算現額内訳) 当初予算額 25,143 補正予算額等 - 合計 25,143	14,062,400 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名)	地震に強い水道をめざして、老朽水道管路を耐震性のある管へと更新するため、布設替工事を行った。 〈内容〉 ○配水管耐震化工事 ・配水管 HPPE φ150mm L=50.0m ・配水管 HPPE φ75mm L= 9.9m	上下水道課

〈 下水道事業会計 〉

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)2 管渠等建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 公共下水道（管渠）整備事業費 <				

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)2 管渠等建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
2 公共下水道（管渠）整備事業費（繰越） 				

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)3 中継ポンプ場建設費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 公共下水道（ポンプ場） 建設事業費 （下水道事業会計決算書 P. 24）	21,000 （参考：予算現額内訳） 当初予算額 21,000 補正予算額等 - 合計 21,000	12,100,000 （補助単独の別） 国・府・単独 （補助制度名） 社会資本整備総合交付金	豪雨等による水害時に被災リスクがある郷之口汚水中継ポンプ場について、耐水計画に沿った浸水対策として、被災時に一定の下水道機能を確保するための設備工事の実施設計を行った。 〈内容〉 ○郷之口汚水中継ポンプ場耐水化実施設計業務 一式 〈事業推移〉 ○R6年度 宇治田原町郷之口汚水中継ポンプ場耐水化計画策定	上下水道課

【下水道事業会計】

(款)1 資本的支出 (項)1 建設改良費 (目)6 流域下水道費

事業の名称	予算現額(千円)	決算額(円)	施策の成果	担当課
1 流域下水道建設費負担金 (下水道事業会計決算書 P.24)	46,485 (参考：予算現額内訳) 〔当初予算額 46,485 補正予算額等 - 合計 46,485〕	43,362,413 (補助単独の別) 国・府・ 単独 (補助制度名) 〔 〕	将来にわたり安定的かつ継続した污水处理サービスを提供するため、宇治田原町公共下水道を京都府木津川流域関連宇治田原町公共下水道に変更し、長期的な視点での経営基盤の強化を図った。 〈内容〉 ○木津川流域下水道建設費負担金 「木津川流域下水道の建設費用等の負担に関する覚書」等に基づき、京都府が整備する木津川流域下水道の基幹施設である洛南浄化センター及び幹線管渠の建設費を負担した。	上下水道課